

基本事業名	幼稚園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	幼稚園児及び保護者				
基本事業コード	411-01			目的 (どうしたいのか)	人間性や社会性の基礎を培い、健やかな成長を育む。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援							
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援							
まちづくりの 戦略	<input type="radio"/>	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	<input type="radio"/>	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
<input type="radio"/>	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

1	事務事業名	幼稚園施設改修事業		事務事業コード	411-01-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	市立幼稚園14園		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
		目的 (どうしたいのか)	安全な保育環境を確保する。		総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	施設の修繕等を行う。					A	B	A
				総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
				単位:千円	( 3,392 )	( 17,282 )				

2	事務事業名	幼稚園運営事務事業		事務事業コード	411-01-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	利用を希望する幼稚園児や保護者		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
		目的 (どうしたいのか)	安全で快適な幼稚園生活を提供し、楽しいことがいっぱい幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進します。		総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	カリキュラムに応じて幼稚園備品や消耗品の購入の他、施設営繕及び各種施設の保守点検や施設維持管理を継続して実施します。					B	B	A
				総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
				単位:千円	( 495,906 )	( 518,766 )				

3	事務事業名	幼稚園まつり開催事業		事務事業コード	411-01-03					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	こども課		
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立幼稚園の園児及び保護者		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
		目的 (どうしたいのか)	豊かな心を育むとともに幼稚園教育への理解を深める		総評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	市立幼稚園14園の全園児が羽曳野コロセアムのメインアリーナに集い、発表会と交流を行う。日頃の各園での活動を大きな場で発することにより、子どもの精神的な成長につなげる。					B	A	A
				総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		実施	
				単位:千円	( 1,193 )	( 1,253 )				

基本事業名	保育園運営管理		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保育園児及び保護者																																																																			
基本事業コード	411-02			目的 (どうしたいのか)	園児の健やかな成長を育むとともに、仕事と子育てを両立できる環境を確保する																																																																			
第6次羽曳野市総合基本計画																																																																								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)																																																																
施策	1	子育て支援		保育所持機児童数	人	0	0	0																																																																
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援																																																																						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり																																																																						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり																																																																						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり																																																																						
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">事務事業名</th> <th colspan="3">公立保育所運営事務事業</th> <th style="width:15%;">事務事業コード</th> <th colspan="2">411-02-01</th> <th colspan="3"></th> </tr> <tr> <td>総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)</td> <td style="background-color: #ffff00;">A</td> <td style="background-color: #ffff00;">順調である</td> <td>継続・新規</td> <td>継続</td> <td>法定・自治</td> <td>自治事務(義務的なもの)</td> <td>担当</td> <td>H29</td> <td>こども課</td> <td>H30</td> <td>こども課</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事務事業の概要</td> <td>対象(誰を・何を)</td> <td colspan="3">保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童</td> <td colspan="3">29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果</td> <td colspan="3">二次評価対象事業</td> </tr> <tr> <td>目的(どうしたいのか)</td> <td colspan="3">安全で快適な保育を提供し、楽しいことがいっぱい幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進します。</td> <td>総合評価・今後の方向性</td> <td>現状維持</td> <td>各視点からの評価</td> <td>妥当性</td> <td>有効性</td> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td>手段(事業内容)</td> <td colspan="3">公立保育所5園を適正に運営し、保育を実施します。</td> <td colspan="2">総事業費(うち市負担額)</td> <td>28年度決算額</td> <td>29年度(当初)予算額</td> <td colspan="2">30年度実施の方向性</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>単位:千円</td> <td>( 728,595 )</td> <td>( 795,113 )</td> <td colspan="2">実施</td> </tr> </table>										事務事業名	公立保育所運営事務事業			事務事業コード	411-02-01					総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業			目的(どうしたいのか)	安全で快適な保育を提供し、楽しいことがいっぱい幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進します。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	手段(事業内容)	公立保育所5園を適正に運営し、保育を実施します。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性							単位:千円	( 728,595 )	( 795,113 )	実施	
事務事業名	公立保育所運営事務事業			事務事業コード	411-02-01																																																																			
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課																																																													
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業																																																																
	目的(どうしたいのか)	安全で快適な保育を提供し、楽しいことがいっぱい幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進します。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性																																																														
	手段(事業内容)	公立保育所5園を適正に運営し、保育を実施します。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性																																																															
					単位:千円	( 728,595 )	( 795,113 )	実施																																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">事務事業名</th> <th colspan="3">公立保育所施設整備事業</th> <th style="width:15%;">事務事業コード</th> <th colspan="2">411-02-02</th> <th colspan="3"></th> </tr> <tr> <td>総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)</td> <td style="background-color: #ffff00;">A</td> <td style="background-color: #ffff00;">順調である</td> <td>継続・新規</td> <td>継続</td> <td>法定・自治</td> <td>自治事務(義務的なもの)</td> <td>担当</td> <td>H29</td> <td>こども課</td> <td>H30</td> <td>こども課</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事務事業の概要</td> <td>対象(誰を・何を)</td> <td colspan="3">市内公立保育園</td> <td colspan="3">29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果</td> <td colspan="3">二次評価対象事業</td> </tr> <tr> <td>目的(どうしたいのか)</td> <td colspan="3">安全な保育環境を確保する。</td> <td>総合評価・今後の方向性</td> <td>現状維持</td> <td>各視点からの評価</td> <td>妥当性</td> <td>有効性</td> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td>手段(事業内容)</td> <td colspan="3">老朽化している園舎の修繕や、待機児童の解消のための施設改修等を行う。</td> <td colspan="2">総事業費(うち市負担額)</td> <td>28年度決算額</td> <td>29年度(当初)予算額</td> <td colspan="2">30年度実施の方向性</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>単位:千円</td> <td>( 42,640 )</td> <td>( 48,350 )</td> <td colspan="2">実施</td> </tr> </table>										事務事業名	公立保育所施設整備事業			事務事業コード	411-02-02					総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内公立保育園			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業			目的(どうしたいのか)	安全な保育環境を確保する。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	手段(事業内容)	老朽化している園舎の修繕や、待機児童の解消のための施設改修等を行う。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性							単位:千円	( 42,640 )	( 48,350 )	実施	
事務事業名	公立保育所施設整備事業			事務事業コード	411-02-02																																																																			
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課																																																													
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内公立保育園			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業																																																																
	目的(どうしたいのか)	安全な保育環境を確保する。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性																																																														
	手段(事業内容)	老朽化している園舎の修繕や、待機児童の解消のための施設改修等を行う。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性																																																															
					単位:千円	( 42,640 )	( 48,350 )	実施																																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">事務事業名</th> <th colspan="3">民間保育所運営事務事業</th> <th style="width:15%;">事務事業コード</th> <th colspan="2">411-02-03</th> <th colspan="3"></th> </tr> <tr> <td>総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)</td> <td style="background-color: #ffff00;">A</td> <td style="background-color: #ffff00;">順調である</td> <td>継続・新規</td> <td>継続</td> <td>法定・自治</td> <td>自治事務(義務的なもの)</td> <td>担当</td> <td>H29</td> <td>こども課</td> <td>H30</td> <td>こども課</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事務事業の概要</td> <td>対象(誰を・何を)</td> <td colspan="3">保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童</td> <td colspan="3">29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果</td> <td colspan="3">二次評価対象事業</td> </tr> <tr> <td>目的(どうしたいのか)</td> <td colspan="3">必要な保育を安全かつ安定的に提供する。</td> <td>総合評価・今後の方向性</td> <td>現状維持</td> <td>各視点からの評価</td> <td>妥当性</td> <td>有効性</td> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td>手段(事業内容)</td> <td colspan="3">民間保育所等において保育需要に対応する他、利用する児童の処遇改善等を目的とした単独補助事業を実施する。</td> <td colspan="2">総事業費(うち市負担額)</td> <td>28年度決算額</td> <td>29年度(当初)予算額</td> <td colspan="2">30年度実施の方向性</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>単位:千円</td> <td>( 503,187 )</td> <td>( 533,984 )</td> <td colspan="2">実施</td> </tr> </table>										事務事業名	民間保育所運営事務事業			事務事業コード	411-02-03					総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業			目的(どうしたいのか)	必要な保育を安全かつ安定的に提供する。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	手段(事業内容)	民間保育所等において保育需要に対応する他、利用する児童の処遇改善等を目的とした単独補助事業を実施する。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性							単位:千円	( 503,187 )	( 533,984 )	実施	
事務事業名	民間保育所運営事務事業			事務事業コード	411-02-03																																																																			
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課																																																													
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業																																																																
	目的(どうしたいのか)	必要な保育を安全かつ安定的に提供する。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性																																																														
	手段(事業内容)	民間保育所等において保育需要に対応する他、利用する児童の処遇改善等を目的とした単独補助事業を実施する。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性																																																															
					単位:千円	( 503,187 )	( 533,984 )	実施																																																																
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:15%;">事務事業名</th> <th colspan="3">民間保育所施設整備事業</th> <th style="width:15%;">事務事業コード</th> <th colspan="2">411-02-04</th> <th colspan="3"></th> </tr> <tr> <td>総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)</td> <td style="background-color: #ffff00;">A</td> <td style="background-color: #ffff00;">順調である</td> <td>継続・新規</td> <td>継続</td> <td>法定・自治</td> <td>自治事務(任意のもの)</td> <td>担当</td> <td>H29</td> <td>こども課</td> <td>H30</td> <td>こども課</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事務事業の概要</td> <td>対象(誰を・何を)</td> <td colspan="3">市内民間保育園及び幼保連携認定こども園の施設整備</td> <td colspan="3">29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果</td> <td colspan="3">二次評価対象事業</td> </tr> <tr> <td>目的(どうしたいのか)</td> <td colspan="3">年々増加している保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。</td> <td>総合評価・今後の方向性</td> <td>現状維持</td> <td>各視点からの評価</td> <td>妥当性</td> <td>有効性</td> <td>効率性</td> </tr> <tr> <td>手段(事業内容)</td> <td colspan="3">社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。</td> <td colspan="2">総事業費(うち市負担額)</td> <td>28年度決算額</td> <td>29年度(当初)予算額</td> <td colspan="2">30年度実施の方向性</td> </tr> <tr> <td colspan="5"></td> <td>単位:千円</td> <td>( 2,151 )</td> <td>( 27,613 )</td> <td colspan="2">実施</td> </tr> </table>										事務事業名	民間保育所施設整備事業			事務事業コード	411-02-04					総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内民間保育園及び幼保連携認定こども園の施設整備			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業			目的(どうしたいのか)	年々増加している保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	手段(事業内容)	社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性							単位:千円	( 2,151 )	( 27,613 )	実施	
事務事業名	民間保育所施設整備事業			事務事業コード	411-02-04																																																																			
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課																																																													
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内民間保育園及び幼保連携認定こども園の施設整備			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業																																																																
	目的(どうしたいのか)	年々増加している保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性																																																														
	手段(事業内容)	社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。			総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性																																																															
					単位:千円	( 2,151 )	( 27,613 )	実施																																																																

基本事業名	就学前教育・保育の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	就学前児童及び保護者				
基本事業コード	411-03			目的 (どうしたいのか)	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援							
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	幼保一元化推進事業		事務事業コード	411-03-01				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	就学前児童	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	【幼保連携による子育て支援機能の充実】教育・保育の需給バランスを調整するとともに、教育・保育それぞれに対するニーズへの対応を図ります。また、就学前児童の教育・保育を一体的かつ総合的に推進するため、幼保連携に努めます。【「はひきのこども夢プラン」第4章子育て支援の充実】	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	【幼保連携事業】就学前児童の教育・保育を一体的かつ総合的に推進するため、組織を改編し、幼保連携事業に取り組みます。【幼稚園教諭及び保育士の交流】教育・保育ニーズへの対応に向け、研修をはじめ、幼稚園教諭と保育士の交流機会を拡充します。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				0	0	A A A		
			単位:千円	(0)	(0)	実施		

事務事業名	こども未来館たかわし整備事業		事務事業コード	411-03-02				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	(仮称)こども未来館たかわし設立準備室	H30	(仮称)こども未来館たかわし設立準備室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	こども未来館たかわし	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	就学前の子どもたちの成長発達に応じた教育・保育を一体的に行い、心と体、意欲や規範意識などを培い、たくましく生きる力の基礎を育成する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	幼保連携型認定こども園「こども未来館たかわし」を整備する。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				264,780	543,270	B A		
			単位:千円	(63,380)	(57,170)	実施		

事務事業名	こども未来館たかわし設立準備事務事業		事務事業コード	411-03-03				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	一 達成・終了		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	(仮称)こども未来館たかわし設立準備室	H30	(仮称)こども未来館たかわし設立準備室
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	こども未来館たかわし	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	こども未来館たかわし設立にあたって、施設整備にむけた準備を行う。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	施設整備にあたっての調整・予算作成および運用に関する資料作成等を行う。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				2,584	2,592	A A B		
			単位:千円	(2,584)	(2,592)	-		

事務事業名	民間こども園施設整備支援事業		事務事業コード	411-03-04				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内民間幼保連携認定こども園の施設整備	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	年々増加している教育・保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。	総合評価・今後の方向性		各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
						実施		
			単位:千円					

基本事業名	子どもの権利擁護の推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童				
基本事業コード	411-04			目的 (どうしたいのか)	子どもの基本的人権を補償する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援							
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	家庭児童相談事業		事務事業コード	411-04-01					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	18歳未満の児童とその家族、及び妊婦		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
		目的 (どうしたいのか)	安心して産み育てられる育児への援助		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	養育相談等、子育て短期保護事業等		総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		
				単位:千円	( 525 )	( 2,713 )	A	A	A	

2	事務事業名	児童虐待防止・対策事業		事務事業コード	411-04-02					
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課	
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	児童への虐待防止推進活動		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業	
		目的 (どうしたいのか)	児童への虐待を防止する。		総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	啓発活動、相談業務、虐待対応、養育支援等。		総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		
				単位:千円	( 161 )	( 474 )	A	A	A	

基本事業名	すべての子どもの育ちへの支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童				
基本事業コード	411-05			目的 (どうしたいのか)	心身ともに健やかに育つ環境づくり・仕組みづくりを図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援							
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	ダルビッシュ有子ども福祉基金管理運用事務事業			事務事業コード	411-05-01						
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課
	対象(誰を・何を)	子ども			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	ダルビッシュ有選手や広く一般からのふるさと納税の寄付金を積み立てた基金を活用して、心身の健やかな成長に寄与する。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性	
	手段(事業内容)	ダルビッシュ有選手が、公式戦で1勝ごとに10万円を寄付していただいたり、広く一般の方からふるさと納税をいただいたりした寄付金を「ダルビッシュ有子ども福祉基金」に積み立て、子どもの福祉に役立つ事業に活用している。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施		
				単位:千円	( 738 )	( 741 )						

2	事務事業名	こども夢プラン進行管理事務事業			事務事業コード	411-05-02						
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課
	対象(誰を・何を)	市民			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	羽曳野市子ども・子育て支援事業計画、羽曳野市次世代育成支援行動計画、羽曳野市母子保健計画(はびきのこども夢プラン)の着実な推進			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性	
	手段(事業内容)	子ども・子育て支援法に基づく合議制の機関を設置し、計画の進行管理を行うとともに、新たな課題等についても協議し、総合的な施策の展開を図る。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施		
				単位:千円	( 1,366 )	( 2,516 )						

基本事業名	子育て家庭への経済的支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者			
基本事業コード	412-01			目的 (どうしたいのか)	育児負担の軽減を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策の方向	1	子育て支援						
まちづくりの戦略	2	子育て家庭への支援						
		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	児童手当給付事務事業		事務事業コード	412-01-01	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	
法定・自治	法定受託事務	担当	H29	こども課	H30
対象(誰を・何を)	中学校修了前の児童を養育している人		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
目的(どうしたいのか)	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
手段(事業内容)	子ども一人につき月額0歳～3歳まで一律15,000円、3歳～小学校修了前(第1子、第2子)10,000円、3歳～小学校修了前(第3子以降)15,000円、中学生(※1)一律10,000円を養育者に支給。ただし、所得制限限度額以上の場合は、法律の附則に基づき特別給付として児童1人あたり一律5,000円の支給となる。(※1)15歳に達する日以後の最初の3月31日までであるもの。		妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				1,789,442	1,780,167
			単位:千円	(285,991)	(284,672)
					30年度実施の方向性
					実施

事務事業名	児童扶養手当給付事務事業		事務事業コード	412-01-02	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	
法定・自治	法定受託事務	担当	H29	こども課	H30
対象(誰を・何を)	18歳に達する日以後の最初の3月31日(児童に政令で定める程度の障がいがある場合は、20歳未満)までの児童を養育するひとり親家庭の母・父等で、所得が一定未満の人。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
目的(どうしたいのか)	ひとり親家庭等の家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の健全な育成を図る。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
手段(事業内容)	手当の月額、請求者等の所得によって、全部支給・一部支給が決まる。支給月は、4月・8月・12月。		妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				629,473	638,702
			単位:千円	(423,138)	(428,944)
					30年度実施の方向性
					実施

事務事業名	特別児童扶養手当給付事務事業		事務事業コード	412-01-03	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	
法定・自治	法定受託事務	担当	H29	こども課	H30
対象(誰を・何を)	20歳未満の政令で規定する障害の状態にある児童を、監護または養育する一定所得基準内の人。		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
目的(どうしたいのか)	児童の福祉の増進を図る。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
手段(事業内容)	各種提出書類の受付、通知書等の送付、所得状況確認等、円滑な支給のための事務を行っています。(受給資格及び障がいの程度については、大阪府が審査します。)		妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				3,123	3,320
			単位:千円	(2,604)	(2,805)
					30年度実施の方向性
					実施

事務事業名	助産施設入所事務事業		事務事業コード	412-01-04	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	
法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30
対象(誰を・何を)	経済的に困窮している妊婦		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
目的(どうしたいのか)	経済的に困窮している妊婦が安心して出産できるようにする。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
手段(事業内容)	出産費用の補助(分娩助産料、入院費用等含み概ね一件あたり30万円～100万円)		妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				5,215	9,889
			単位:千円	(1,876)	(2,250)
					30年度実施の方向性
					実施

事務事業名	私立幼稚園就園支援事業		事務事業コード	412-01-05	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	
法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30
対象(誰を・何を)	私立幼稚園又は認定こども園に通園する子どもの保護者		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
目的(どうしたいのか)	充実した幼稚園教育を提供できるようにする。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
手段(事業内容)	私立幼稚園又は認定こども園に通園する子どもに係る給付費または保育料の一部を保護者(施設が法定代理受領)に給付することにより、円滑な施設運営を図る。		妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
				53,211	70,952
			単位:千円	(30,712)	(35,494)
					30年度実施の方向性
					実施

基本事業名	仕事と子育てを両立できる環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者			
基本事業コード	412-02			目的 (どうしたいのか)	多様化するニーズにあわせた保育サービスの充実を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	1	子育て支援						
施策の方向	2	子育て家庭への支援						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名		ひとり親家庭自立支援事業		事務事業コード		412-02-01						
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	法定受託事務	担当	H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	母子家庭の母・父子家庭の父で児童扶養手当受給者等		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業				
	目的(どうしたいのか)	ひとり親家庭の自立の促進を図る。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性			
	手段(事業内容)	母子・父子・寡婦福祉資金の貸し付け(大阪府へ進達)や就労に関する相談業務等を行い、就業支援事業として高等職業訓練促進給付金事業等を実施している。					A	A	A			
総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施						
		10,005	14,150									
単位:千円		(6,824)	(4,491)									

事務事業名		一時預かり事業		事務事業コード		412-02-02						
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	突発的な要因の他、育児等に伴う心理的・肉体的負担等を抱える保護者		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業				
	目的(どうしたいのか)	保護者の突発的な要因の他、育児等に伴う心理的・肉体的負担を解消するため、緊急的・一時的に保育を必要とする児童を民間保育所において保育する。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性			
	手段(事業内容)	市内の民間保育所のうち3園で本事業を実施し、その運営費用を補助する。					A	A	A			
総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施						
		14,689	16,140									
単位:千円		(5,649)	(7,100)									

事務事業名		延長保育事業		事務事業コード		412-02-03						
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	保育を必要とする保護者		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業				
	目的(どうしたいのか)	民間保育施設を利用する保護者が、就労や急用など、特別な事由により、保育認定を受けた時間外に保育が必要となった場合に対応する。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性			
	手段(事業内容)	民間保育所に対し、事業実施に必要な費用として、補助金を交付する。(国庫補助事業)					A	A	A			
総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施						
		4,062	5,700									
単位:千円		(1,662)	(2,100)									

事務事業名		病後児保育事業		事務事業コード		412-02-04						
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	病気の回復期等であることから集団保育が困難な児童		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業				
	目的(どうしたいのか)	保護者が就労等の事由により家庭で保育が出来ない児童を一時的に預かる		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性			
	手段(事業内容)	事業実施団体に運営費補助金を交付する。(国府負担あり)					A	A	A			
総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施						
		8,108	9,552									
単位:千円		(3,412)	(4,856)									

基本事業名	きめ細やかな保育・子育てサービスの提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者				
基本事業コード	412-03			目的 (どうしたいのか)	安心して子育てできる環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援							
施策の方向	2	子育て家庭への支援							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	養育支援訪問事業		事務事業コード	412-03-01				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	養育が困難な家庭	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	児童の見守り、親への家事援助による育児スキルの向上、育児ストレス軽減等により児童虐待防止を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	養育が困難な家庭にヘルパーを派遣し、養育を支援する。				A	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				3,055	3,059	実施		
			単位:千円	(1,855)	(1,859)			

事務事業名	子育て短期支援事業		事務事業コード	412-03-02				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	事情がある家庭の児童	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	夜間放置等の児童虐待を防止する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	児童養護施設にて短期間の児童の一時預かり(1週間を限度とする。)				A	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				514	2,300	実施		
			単位:千円	(293)	(2,078)			

事務事業名	育児支援家庭訪問事業		事務事業コード	412-03-03				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	第2子以降を出生した家庭	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	新生児家庭を訪問することにより、安心して育児を行えるようにする。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	出生後家庭を保育士・子どもサポーターが訪問することにより、家庭の状況を把握し、新生児育児への適切な援助を行なう。				A	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				5,335	5,331	実施		
			単位:千円	(0)	(0)			

事務事業名	赤ちゃんの駅設置事業		事務事業コード	412-03-04				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	外出中の乳幼児及びその保護者	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	おもつ替え又は授乳のできる施設を登録し、広く公表することにより、子育て中の親子が安心して外出できる環境の整備を図り、地域社会全体で子育てを支えるやさしいまちづくりを推進することを目的としています。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	①赤ちゃんの駅事業 基準を満たす施設を赤ちゃんの駅として登録し、無料で場所の提供をもらう事業。②移動式赤ちゃんの駅貸出事業 市内イベントにテント、おもつ交換台等を貸し出す事業。				A	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				2,054	1,259	実施		
			単位:千円	(2,054)	(1,259)			



基本事業名	子育てに関する情報の発信		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者等				
基本事業コード	412-04			目的 (どうしたいのか)	制度や各種サービスに係る周知を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援		はびきの子育てネット閲覧回数(累計)	回	66,000	94,142	142,800	
施策の方向	2	子育て家庭への支援							
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	<input type="radio"/>	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	<input type="radio"/>	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

  

1	事務事業名	はびきの子育てネット運用事務事業			事務事業コード	412-04-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28	こども課	H29	こども課
	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	子育て中の保護者			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	羽曳野市の公式子育て応援サイトとして、子育てに関する情報を発信することで、地域の子育てを支援する。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	こども課、市立子育て支援センター、健康増進課が、それぞれのページを運用し、子育てに関する情報を提供しています。こども課では台風などによる保育園の休園情報など、子育て支援センターは日々の事業の様子などをすばやく提供しています。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		B	B
				単位:千円	( 14,414 )	( 14,460 )			実施			

基本事業名	地域子育て支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	保護者				
基本事業コード	413-01			目的 (どうしたいのか)	地域で孤立することなく、楽しく子育てできる環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	1	子育て支援							
施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	地域子育て支援拠点事業		事務事業コード	413-01-01				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	地域の乳幼児及びその保護者	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行っています。具体的には、子育て講座、サークル支援、年齢別親子教室や親子で楽しめるイベントなどを開催しています。				A	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				57,570	57,570	実施		
			単位:千円	(34,518)	(34,518)			

事務事業名	古市複合館管理事務事業		事務事業コード	413-01-02				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	古市複合館(子育て支援センター・ふるいち、図書館、青少年センター)	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	地域の子育てと青少年活動の拠点とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	市長及び教育委員会が管理する施設とし、別に条例で定める子育て支援センター、図書館及び青少年センターをあわせて管理する。				A	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				4,485	4,932	実施		
			単位:千円	(4,485)	(4,932)			

事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事務事業		事務事業コード	413-01-03				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	子育て支援センターふるいち	H30	子育て支援センターふるいち
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	依頼会員・協会員ともに、市内在住の生後3か月から小学6年生までの子どもがいる方	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	子育ての援助をして欲しい人(依頼会員)と子育ての援助をしたい人(協会員)の相互援助活動により、地域の子育て支援の輪を広げることを目的としています。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	センターは、依頼会員と協会員との連絡調整等を行います。援助を受けた依頼会員は協会員に報酬等を支払い、協会員は援助活動報告書をセンターに提出します。				A	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				2,973	3,033	実施		
			単位:千円	(1,373)	(1,433)			

事務事業名	家庭支援推進保育所事務事業		事務事業コード	413-01-04				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	こども課	H30	こども課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	民間保育園	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	園児及びその家庭に対し、家庭環境に配慮したきめ細やかな保育を実施と、支援が行き届きにくい在宅の子育て家庭への支援。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	家庭訪問・出前育児相談等を行う保育園に対し、補助金を交付する。				B	B	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				4,962	4,800	実施		
			単位:千円	(462)	(300)			

基本事業名	教育委員会の運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	教育委員会					
基本事業コード	421-01			目的 (どうしたいのか)	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画										
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども、若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)		
施策	2	学校教育				児童85.4 生徒84.7	児童84.6 生徒78.7	児童87.0 生徒87.0		
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進				学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	%	児童85.4 生徒84.7	児童84.6 生徒78.7	児童87.0 生徒87.0
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり				将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合	%	児童84.1 生徒70.2	児童82.3 生徒68.8	児童87.0 生徒72.5
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり								
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

事務事業名	教育委員会運営事務事業		事務事業コード	421-01-01	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29 教育総務課 H30 教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育委員会	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	教育委員会の権限に属する事務を円滑に処理する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	教育に関する議案を審議するため、月1回の定例会や必要な時に臨時会を開催する。新教職員人事や規則の制定など、教育に関する一般方針の決定等を教育長及び4人の教育委員の合議制により行う。	妥当性	A	有効性 効率性 A A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 9,252	29年度(当初)予算額 9,528
			単位:千円	(9,252)	(9,528)
					30年度実施の方向性 実施

事務事業名	評価委員会関連事務事業		事務事業コード	421-01-02	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29 教育総務課 H30 教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育委員会	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	主要な施策や事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	教育委員会事務局にて、主要な施策や事務事業の点検・評価を行い、評価委員会の意見を聴取した上で、点検・評価の実施報告書を作成し、議会への報告及び市民への公表を行う。	妥当性	A	有効性 効率性 A A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 759	29年度(当初)予算額 783
			単位:千円	(759)	(783)
					30年度実施の方向性 実施

事務事業名	表彰関連事務事業		事務事業コード	421-01-03	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 教育総務課 H30 教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、職員及び団体	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	教育委員会が表彰するのが適当であると認める成績、業績または行為のあったものを表彰する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	表彰審査会において審議し、毎年11月3日に表彰する。また、必要に応じて、随時表彰する。	妥当性	A	有効性 効率性 A A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 453	29年度(当初)予算額 568
			単位:千円	(453)	(568)
					30年度実施の方向性 実施

事務事業名	教育改革審議会運営事務事業		事務事業コード	421-01-04	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育改革審議会委員	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	子育て及び教育行政の新たな課題等の重要事項について調査審議する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	専門的見地に立ち審議会委員が協議をしたうえ、審議会答申を作成し、今後の市の教育施策に反映させる。	妥当性	B	有効性 効率性 B A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 121	29年度(当初)予算額 1,145
			単位:千円	(121)	(1,145)
					30年度実施の方向性 実施

事務事業名	教科書採択関連事務事業		事務事業コード	421-01-05	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育委員、市立小中学校所属教職員	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	公正な手続きのもと、羽曳野市の子どもたちにとって最も適した教科書を採択し、学習基盤を整える。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	専門的見地に立った十分な調査・研究を調査員が行い、それを踏まえて、市民としての意見も反映したうえ、選定委員会での答申を作成する。	妥当性	A	有効性 効率性 A A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 407	29年度(当初)予算額 800
			単位:千円	(407)	(800)
					30年度実施の方向性 実施

事務事業名	教育振興基金管理運用事務事業		事務事業コード	421-01-06	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	教育振興基金	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	教育の振興を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	寄附金及び利子収入を基金に積み立て、教育の振興に関する事業のために運用する。	妥当性	A	有効性 効率性 A A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 428	29年度(当初)予算額 145
			単位:千円	(74)	(75)
					30年度実施の方向性 実施

基本事業名	小中学校管理運営		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校				
基本事業コード	421-02			目的 (どうしたいのか)	安全で快適な教育環境・学習環境を確保する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	小中学校総務管理事務事業		事務事業コード	421-02-01					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	小中学校の適正かつ円滑な運営管理に努め、児童・生徒及び利用者に快適で安全な学校生活を提供する。		総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	消耗品の購入、校務員の配置など		総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施
				単位:千円	( 110,008 )	( 118,362 )				

2	事務事業名	小中学校物品等管理事務事業		事務事業コード	421-02-02					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	小中学校の適正かつ円滑な運営管理に努め、児童・生徒及び利用者に快適で安全な学校生活を提供する。		総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	学校備品の購入		総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施
				単位:千円	( 44,835 )	( 44,348 )				

3	事務事業名	小中学校保健衛生等事務事業		事務事業コード	421-02-03					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	学校教育課	H30	学校教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市が設置する小中学校に在学する児童・生徒、教職員		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	児童、生徒、教職員の健康保持・増進学校教育の円滑な実施、保護者の医療費負担軽減		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	健康診断、各種検診、学校環境検査、災害共済給付		総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施
				単位:千円	( 62,348 )	( 68,705 )				

4	事務事業名	小中学校図書館支援事業		事務事業コード	421-02-04					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	学校教育課	H30	学校教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	小中学校図書館システム、市立小中学校在籍の児童・生徒		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	知性・人間性を広げるために不可欠な図書館教育を充実させる。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	図書館システムの保守や運営支援、書籍配送事業をすすめることで、子どもたちの読書活動の環境を整える。		総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施
				単位:千円	( 45,759 )	( 54,570 )				

基本事業名	教育内容の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒				
基本事業コード	421-03			目的 (どうしたいのか)	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども、若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	2	学校教育							
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	小学校英語サポート事業		事務事業コード	421-03-01	
総計に基づく 事業の進捗状況	(29年度)	一 達成・終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 特命プロジェクトチーム H30 特命プロジェクトチーム
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	実施希望のあった小学校の5、6年生児童	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	市内児童の国際意識および外国語でのコミュニケーション能力の向上を図る。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価
	手段(事業内容)	英語に堪能な市職員が、2週間に1回程度学校に訪問し、小学校の英語授業のサポートを行う。	妥当性	B	有効性 効率性
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 2,218	29年度(当初)予算額 1,111
			単位:千円	(2,218)	(1,111)
					30年度実施の方向性
					B B B

事務事業名	ICT教育推進事業		事務事業コード	421-03-02	
総計に基づく 事業の進捗状況	(29年度)	A 順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29 教育総務課 H30 教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童及び生徒	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	ICT教育環境の充実を図り、児童及び生徒のICT活用能力を高める。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	国の促進事業に基づきICT教育の環境整備を図る。※ICT(情報コミュニケーション技術)教育とは、情報技術を用いて、学習者に新しいコミュニケーション環境を提供しようとする教育をいう。	妥当性	A	有効性 効率性
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 46,540	29年度(当初)予算額 126,521
			単位:千円	(46,540)	(126,521)
					30年度実施の方向性
					A B A

事務事業名	ALTを活用した外国語教育推進事業		事務事業コード	421-03-03	
総計に基づく 事業の進捗状況	(29年度)	A 順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小中学校 児童・生徒・教職員	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	児童・生徒の言語や発音の向上や、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解を深める。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	・英語に慣れ親しむ場面での活用・英語の音声指導や英語表現の活用指導・外国の文化や行事、生活習慣、歴史等に関する活動	妥当性	A	有効性 効率性
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 11,147	29年度(当初)予算額 11,587
			単位:千円	(10,970)	(11,587)
					30年度実施の方向性
					A A A

事務事業名	人権教育推進事業		事務事業コード	421-03-04	
総計に基づく 事業の進捗状況	(29年度)	A 順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小中学校教職員、市人権教育研究会	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	各小中学校における人権に関する校内研修を充実させることで、幼稚園・小中学校の子どもたちが安心して学校生活を送れる環境(人権が尊重された学校づくり)をととのえる。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	校内研修への講師招聘にあたり、謝礼の支援をする。	妥当性	A	有効性 効率性
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 1,389	29年度(当初)予算額 1,367
			単位:千円	(1,389)	(1,367)
					30年度実施の方向性
					A A A

事務事業名	保幼小中一貫教育推進事業		事務事業コード	421-03-05	
総計に基づく 事業の進捗状況	(29年度)	A 順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立幼稚園、小・中学校および保育園	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	幼小中11か年に加え保育園での活動も関連付け、中学校区で「めざす子ども像」を共有し、教科学力・学びの基礎力等を関連付けながら、子ども一人ひとりの「生きる力」を育成することを目的とする。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	全中学校区において、各中学校区の特性を活かした保幼小中一貫教育を推進する。また、横断的なモデルカリキュラムを作成し、校種間の段差等を軽減する。	妥当性	A	有効性 効率性
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 5,726	29年度(当初)予算額 5,761
			単位:千円	(5,726)	(3,830)
					30年度実施の方向性
					A A A

事務事業名	姉妹校交流助成事業		事務事業コード	421-03-06	
総計に基づく 事業の進捗状況	(29年度)	A 順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立白鳥小学校 5年生・6年生	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	豊かな人間性を育むとともに、地域に誇りを持つ。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	島根県安来市赤江小学校の児童・教職員・保護者と白鳥伝説を通じた交流を行う。	妥当性	A	有効性 効率性
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 324	29年度(当初)予算額 325
			単位:千円	(324)	(325)
					30年度実施の方向性
					A A A

事務事業名	小規模校における外国語活動合同開催事業		事務事業コード	421-03-07	
総計に基づく 事業の進捗状況	(29年度)	A 順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 学校教育課 H30 学校教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立駒ヶ谷・古市南・西浦東小学校 5年生・6年生	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	小学校小規模校において、外国語活動を中心とした交流事業を進め、小規模の学校生活では経験できない活動を実施し、大勢の集団生活の中で社会性を育む。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	年数回交流を実施。ALT等を活用し、外国語(英語)を通じた内容の交流を深める。	妥当性		有効性 効率性
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			単位:千円		
					30年度実施の方向性
					実施

基本事業名	クラブ活動等の活性化推進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒			
基本事業コード	421-04			目的 (どうしたいのか)	心身の健全な育成を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	大会出場等助成事業		事務事業コード	421-04-01					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	生徒及び引率教職員		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	クラブ活動経費の一部を助成することにより、生徒の健全な心身を育み、クラブ活動を奨励する。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	中学生がクラブ活動で、日本中学校体育連盟が主催する全国中学校総合体育大会及び近畿中学校体育連盟が主催する近畿中学校総合体育大会に出場したとき、旅費及び宿泊費を助成する。		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施	
				単位:千円	( 655 )	( 870 )				

2	事務事業名	中学校プラスバンド助成事業		事務事業コード	421-04-02					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	中学校プラスバンド部		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	クラブ活動の活性化を図る。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	中学校のプラスバンド部用楽器の修繕及び購入(隔年)を行う。また、教育委員会後援で市内6中学校共同発表会を年に一度開催する。		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施	
				単位:千円	( 1,159 )	( 3,274 )				

3	事務事業名	部活動指導者派遣事業		事務事業コード	421-04-03					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	学校教育課	H30	学校教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立中学校 生徒		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	部活動の充実及び教員の資質向上を図る。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	地域に在住のスポーツ指導者や経験者を派遣し、顧問の教諭等と連携・協力しながら、部活動での技術的な指導をおこなう。		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施	
				単位:千円	( 689 )	( 673 )				

4	事務事業名	クラブ活動助成事業		事務事業コード	421-04-04					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	学校教育課	H30	学校教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小中学校 児童・生徒		29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
		目的(どうしたいのか)	児童・生徒の心身両面での健全育成をめざす。		総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	放課後、休日を利用して活動。スポーツや文化活動において、児童・生徒が興味関心を持つことができるクラブを設定し、学年学級の枠を越えて、同じ目標に向かって努力させる。		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	実施	
				単位:千円	( 7,501 )	( 7,509 )				

基本事業名	きめ細やかな教育支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒			
基本事業コード	421-05			目的 (どうしたいのか)	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名	帰国・外国人児童生徒適応支援事業		事務事業コード	421-05-01	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	日本語指導が必要な児童・生徒及び保護者	学校教育課	学校教育課	
	目的(どうしたいのか)	渡り間もない児童・生徒の、生活するために必要な日本語(サバイバル日本語)の習得支援および、母語保障をする。	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	通訳及び日本語指導	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			5,402	5,402	13,321
			単位:千円	(5,402)	(13,321)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	不登校児童生徒適応指導事業		事務事業コード	421-05-02	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	不登校児童・生徒	学校教育課	学校教育課	
	目的(どうしたいのか)	不登校児童・生徒の学校復帰をめざし、小集団活動を通じて、集団への適応力を育成する。	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	①学校と連携した学習支援②料理やスポーツ、野外活動などの体験活動③本人・保護者との相談活動	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			9,680	9,680	9,998
			単位:千円	(9,588)	(9,998)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	教育相談事業		事務事業コード	421-05-03	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立 幼稚園、小中学校の園児、児童・生徒及び保護者、教職員	学校教育課	学校教育課	
	目的(どうしたいのか)	学校教育活動等における児童及び生徒が有する諸課題に対応するため、専門的な知識を有する者を相談員として設置し、保護者や教職員に対してカウンセリング等を実施する	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	①幼児、児童、生徒の保護者に対し、来室または電話による教育相談に応じる②教職員に対し、来室または電話による教育相談に応じる	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			2,219	2,219	2,318
			単位:千円	(2,219)	(2,318)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	進路選択支援事業		事務事業コード	421-05-04	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立中学校 生徒・保護者	学校教育課	学校教育課	
	目的(どうしたいのか)	経済的な理由で、進学等を断念することがないように支援する。	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	家庭状況および相談内容に応じて、適切な奨学金の活用や手続きについて案内する。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			1,769	1,769	1,834
			単位:千円	(1,143)	(1,208)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	肢体不自由児療育支援事業		事務事業コード	421-05-05	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小中学校に在籍する、障がいのある児童・生徒	学校教育課	学校教育課	
	目的(どうしたいのか)	市内在住の肢体不自由児をはじめ、障がいのある児童・生徒に対して、円滑な就学と教育の実施に努め、教育の機会均等を図る。	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	西浦小学校、峰塚中学校をセンター校と位置付け介助員を配置する。週1回、機能訓練士を派遣する。児童・生徒の登下校時のスクールバスを運行する。市内支援学級の交流行事の充実を図	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			24,797	24,797	23,658
			単位:千円	(24,249)	(22,775)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	特別支援教育推進事業		事務事業コード	421-05-06	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小中学校に在籍する、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒	学校教育課	学校教育課	
	目的(どうしたいのか)	当該の児童・生徒に対して適切な教育(支援教育)を行う。	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	小・中学校に支援教育支援員を配置する。支援教育支援員は、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、生活支援、行動支援、学習支援等を行う。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			5,789	5,789	6,612
			単位:千円	(5,789)	(6,612)
				30年度実施の方向性	実施

事務事業名	ほっとスクール支援員事業		事務事業コード	421-05-07	
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小中学校 児童・生徒	学校教育課	学校教育課	
	目的(どうしたいのか)	学力向上、支援教育充実、不登校・いじめ等防止等、今日的な教育課題解決の一助とする。	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業	
	手段(事業内容)	①教育課程上の教育活動における学習支援、学習指導補助等②始業前の自主学習、放課後の自主学習等における学習指導補助等③特別な支援を必要とする児童・生徒への介助及び支援等④不登校傾向等生徒指導上の配慮を必要とする児童・生徒への相談活動、別室指導補助等	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
			妥当性	A	有効性
			効率性	A	A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額
			2,052	2,052	1,992
			単位:千円	(2,052)	(1,992)
				30年度実施の方向性	実施

基本事業名		子どもの貧困対策		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	経済的理由等、困難を有する児童・生徒								
基本事業コード		421-06			目的 (どうしたいのか)	教育を受ける機会の均等を図る。								
第6次羽曳野市総合基本計画					総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)				
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち												
施策	2	学校教育												
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進												
まちづくりの戦略		<input type="radio"/> (1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり <input type="radio"/> (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり <input type="radio"/> (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
事務事業名		就学援助等事務事業			事務事業コード		421-06-01							
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		A 順調である		継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	学校教育課	H30	学校教育課		
1	事務事業の概要		対象(誰を・何を) 羽曳野市が設置する小中学校に在学する児童・生徒をもつ保護者 目的(どうしたいのか) 経済的理由によって就学が困難となっている児童・生徒が、義務教育を円滑に受けられるようにするため。 手段(事業内容) 学用品費など必要な費用の一部を援助する。			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果					二次評価対象事業			
						総合評価・今後の方向性		現状維持		各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
						総事業費(うち市負担額)		28年度決算額	29年度(当初)予算額			30年度実施の方向性	実施	
					単位:千円		( 97,286 )	( 110,059 )			( 93,820 )	( 106,386 )		



基本事業名	教育体制の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	市立小中学校の教職員			
基本事業コード	421-07			目的 (どうしたいのか)	指導力・資質の向上を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの 戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

事務事業名		教職員研修事務事業			事務事業コード		421-07-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	学校教育課	H30	学校教育課
1	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	学校職員			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	学校職員の資質を向上させることにより、子ども・地域にとってよりよい学校にする。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	大学の先生をはじめ、その道の専門の先生方を招へいて研修を実施する。						A	A	A
総事業費 (うち市負担額)		28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施			
		3,759		4,131							
単位:千円		( 3,759 )		( 4,131 )							

事務事業名		教育指導専門員事業			事務事業コード		421-07-02				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	学校教育課	H30	学校教育課
2	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小・中学校の教員(新任教員・講師)			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	教職員の日々の授業の質を高め、指導力を向上させることにより、子ども・地域にとってよりよい学校にする。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	教育指導専門員を配置し、法定の初任者研修における研究授業にかかる指導等の指導助言を補助的に実施するもの。						A	A	A
総事業費 (うち市負担額)		28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施			
		5,985		6,127							
単位:千円		( 5,900 )		( 6,127 )							

事務事業名		教育活動研究等推進事業			事務事業コード		421-07-03				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	学校教育課	H30	学校教育課
3	事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小中学校 児童・生徒・教職員			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果			二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	小・中学校の教職員等で構成する各教科・領域の研究団体に対して、研究等の教育活動を充実させ、その効果を学校教育に活かす。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	各学校関係団体や学校に負担金や助成金を支給し、支援する。 学校関係団体:小学校教育研究会、中学校教育研究会等						A	A	A
総事業費 (うち市負担額)		28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度 実施の 方向性		実施			
		5,499		5,758							
単位:千円		( 5,499 )		( 5,758 )							

基本事業名	教育環境の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	学校施設					
基本事業コード	422-01			目的 (どうしたいのか)	安全・安心な学校生活に必要な設備環境の確保と改善を図る。					
第6次羽曳野市総合基本計画						指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち								
施策	2	学校教育								
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進								
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり								

事務事業名	学校施設管理事務事業		事務事業コード	422-01-01				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	市立小中学校施設の使用について安全な教育環境を提供する。	総評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	①光熱費等の支払い。②施設の不良箇所を修繕する。③各種設備の保守点検および維持管理を専門業者へ委託する。	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度実施の方向性	
			総事業費(うち市負担額)		177,663		187,904	
			単位:千円		( 177,663 )		( 187,904 )	

事務事業名	学校施設改修事業		事務事業コード	422-01-02				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	市立小中学校施設の使用について安全な教育環境を提供する。	総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	安全な教育環境を提供するために計画的な学校施設及び設備の改修工事を行う。	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度実施の方向性	
			総事業費(うち市負担額)		11,771		16,482	
			単位:千円		( 11,771 )		( 16,482 )	

事務事業名	非構造部材耐震化事業		事務事業コード	422-01-03				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	地震災害時における児童、教職員の安全を確保するとともに、地域住民の避難場所としての安全性を担保する。	総評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	①屋内運動場の吊り天井材の撤去工事②バスケットゴール、照明器具、校歌額縁等の落下防止のための補強工事③窓ガラスの飛散対策として飛散防止フィルムの貼付	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度実施の方向性	
			総事業費(うち市負担額)		216,026		113,530	
			単位:千円		( 194,403 )		( 113,530 )	

事務事業名	普通教室エアコン設置事業		事務事業コード	422-01-04				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	教育総務課	H30	教育総務課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒、教職員および地域住民	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	近年における夏季の猛暑による熱中症対策および教育環境の質的な向上を図る。	総評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	羽曳野市立小中学校の普通教室、支援学級教室にエアコンを設置する。	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度実施の方向性	
			総事業費(うち市負担額)		9,495		506,763	
			単位:千円		( 5,795 )		( 8,131 )	

事務事業名	茶山グラウンド整備事業		事務事業コード	422-01-05				
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)		継続・新規	終了	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	教育総務課	H30
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童、生徒および地域住民	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラウンドについて、菅田中学校テニスコート整備、災害時の一時避難地としての機能強化、世界文化遺産登録に向けた景観の形成ならびに市民や来場者の憩いの場としての充実を図るための整備を行う。	総評価・今後の方向性	完了	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	全面人工芝のテニスコート5面と憩いの広場整備、かまどベンチ、防災用照明灯の設置などを平成27年度から平成28年度の2カ年事業で実施する。	28年度決算額		29年度(当初)予算額		30年度実施の方向性	
			総事業費(うち市負担額)		61,717		0	
			単位:千円		( 4,417 )		( 0 )	

基本事業名	学校給食の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒			
基本事業コード	422-02			目的 (どうしたいのか)	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	2	学校教育						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進						
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	中学校給食提供事業		事務事業コード	422-02-01			
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続			
	対象(誰を・何を)	市立中学校生徒		法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	教育総務課
	目的 (どうしたいのか)	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進のために、お弁当を持参できない生徒に栄養バランスを考えた食事を提供する。生徒に「食」の正しい知識を習得させ、適切な判断能力を養う。		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業			
	手段 (事業内容)	保護者(生徒)がパソコン・携帯電話を活用し、予約システムより給食の利用を希望する日を選んで申込みする「選択制」の給食を実施。デリバリー方式・外部民間調理場活用方式とする。		総評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性
				総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 28,369	29年度(当初)予算額 33,005	30年度 実施の 方向性	実施
				単位:千円	(28,369)	(33,005)		

2	事務事業名	小学校給食提供事業		事務事業コード	422-02-02			
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続			
	対象(誰を・何を)	市立小学校児童		法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	学校給食センター
	目的 (どうしたいのか)	児童の心身の健全な発達と、食に関する正しい理解と適切な判断力を養成する。		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業			
	手段 (事業内容)	日々の小学校給食の提供において、羽曳野市学校給食会での献立作成・物資購入・食物アレルギー対策に関する協議に基づき、安全で充実した給食の実施を図る。また、各学校での栄養教諭を中心とした児童や保護者への食育指導に取組む。		総評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性
				総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 275,744	29年度(当初)予算額 272,766	30年度 実施の 方向性	実施
				単位:千円	(275,744)	(272,766)		

3	事務事業名	給食センター等施設管理事務事業		事務事業コード	422-02-03			
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	C	やや遅れている	継続・ 新規	継続			
	対象(誰を・何を)	第1学校給食センター、第2学校給食センター、各小学校給食室 設置備品		法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	H29	学校給食センター
	目的 (どうしたいのか)	日々の小学校給食の提供を円滑に実施するため、必要となる施設及び調理設備を維持管理する。		29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果	二次評価対象事業			
	手段 (事業内容)	施設や設備の定期的な点検や老朽箇所の補修と故障修理、及び、施設運営に必要な供給処理施設を維持管理する。		総評価・ 今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性
				総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 64,054	29年度(当初)予算額 60,555	30年度 実施の 方向性	実施
				単位:千円	(64,054)	(60,555)		

基本事業名	安全安心な学校環境の整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童及び生徒						
基本事業コード	422-03			目的 (どうしたいのか)	登下校時及び校内での安全を確保する。						
第6次羽曳野市総合基本計画						総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち									
施策	2	学校教育									
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進									
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり									
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり									
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり									

1	事務事業名	学校安全対策事業			事務事業コード	422-03-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	教育総務課	H30	教育総務課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	小学校校内の学生生活及び登下校時における不審者等からの安全確保を図る。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	各小学校正門付近に安全管理員を配置し、門扉の施錠、不審者等発見時の通報、来校者確認の受付業務等を行う。また、新入学児童全員に防犯ブザーを無償貸与する。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 4,079	29年度(当初)予算額 4,406	30年度 実施の 方向性		A A A 実施	
					単位:千円	(4,079)	(4,406)					

2	事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業			事務事業コード	422-03-02						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29	学校教育課	H30	学校教育課
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立小学校児童			29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果				二次評価対象事業		
		目的 (どうしたいのか)	子どもたちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
		手段 (事業内容)	警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱し、各学校を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価や、スクールガードに対する指導等を行う。			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額 873	29年度(当初)予算額 818	30年度 実施の 方向性		A A A 実施	
					単位:千円	(513)	(458)					

基本事業名		教育コミュニティづくり		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)					地域住民及び保護者		
基本事業コード		422-04			目的 (どうしたいのか)					地域全体で学校教育を支援する。		
第6次羽曳野市総合基本計画												
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち		総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値 (総計)	29年度 実績	32年度 目標 (総計)			
施策	2	学校教育										
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進										
まちづくりの 戦略	○	(1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり										
	○	(2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり										
	○	(3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり										
事務事業名		私たちのまちの学校園育み事業			事務事業コード		422-04-01					
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)		A 順調である		継続・ 新規	継続	法定・ 自治	自治事務(任意のもの)	担当	H28	学校教育課	H30	学校教育課
1 事務事業の 概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市立幼稚園・小中学校			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業			
	目的 (どうしたいのか)	地域住民及び保護者が教育活動の振興を支援し、学校園と地域 住民及び保護者が協働関係をもって園児・児童・生徒を育む。			総合評価・ 今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性	
	手段 (事業内容)	①地域の人材を生かした教育活動の充実②教育講演会の開催 ③リーフレットの作成、配布④地域清掃活動等			総事業費 (うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度 実施の 方向性		A A A		
					単位:千円	( 2,998 )	( 2,999 )			実施		



基本事業名	健やかな成長を支える環境整備		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等				
基本事業コード	431-02			目的 (どうしたいのか)	各施設において、地域の子育て・自主活動・健全育成等に対する支援を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	3	子ども・若者育成支援							
施策の方向	1	健やかな成長支援							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	青少年児童センター運営事務事業		事務事業コード	431-02-01	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 青少年児童センター H30 青少年児童センター
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	幼児から成人の方まで幅広い年代を対象。	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	・青少年の放課後や土曜日・夏季休暇等の安心・安全な居場所づくりの実施。・小学生を中心に各種教室を実施し様々な知識・技術等を習得、体験し生涯学習への関心を高める。・体育館・運動広場・教室等の施設を貸し出すことにより自主活動の場を提供する。	総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	月～日(年末・年始除く)の午前9時から午後9時30分まで開館。・土曜日教室(文化、サッカー、おもしろ)・子育て支援(親子、小学生体操教室)・夜の学習会・夏休みを中心とした子ども教室・館内の教室、体育館、運動広場等の施設貸出(無料)	妥当性	B	有効性 A 効率性 A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 22,615 29年度(当初)予算額 23,389	30年度実施の方向性 実施
			単位:千円	( 22,258 ) ( 23,042 )	

事務事業名	青少年児童センター施設管理事務事業		事務事業コード	431-02-02	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 青少年児童センター H30 青少年児童センター
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	青少年児童センターを利用される市内外の方々を対象とする。	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	適切な施設・設備の維持管理により、利用者が安全で安心して当センターを利用できるようにする。	総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	・来館者が青少年児童センターを安全で安心して利用できるよう、電気設備や消防設備の点検、施設の警備や清掃業務等を委託している。・施設や設備等の補修・修繕については出来る限り職員で行い、必要に応じて業者に発注を行っている。	妥当性	A	有効性 B 効率性 A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 21,414 29年度(当初)予算額 21,878	30年度実施の方向性 実施
			単位:千円	( 21,414 ) ( 21,878 )	

事務事業名	白鳥児童館運営事務事業		事務事業コード	431-02-03	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 白鳥児童館 H30 白鳥児童館
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	乳幼児から小学校に在学する児童、保護者	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	子どもに健全な遊びを与えるとともに、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。	総評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価
	手段(事業内容)	子育て親子の交流の場の提供、交流の促進、子育て相談等の子育て支援事業。主に小学生を対象にした遊びの場の提供、遊びの指導、工作や体験型教室の開催。地域との連携・交流を深めるイベントの実施。	妥当性	A	有効性 B 効率性 A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 7,802 29年度(当初)予算額 8,095	30年度実施の方向性 実施
			単位:千円	( 7,756 ) ( 6,222 )	

事務事業名	白鳥児童館施設管理事務事業		事務事業コード	431-02-04	
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29 白鳥児童館 H30 白鳥児童館
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	白鳥児童館	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業
	目的(どうしたいのか)	利用者が安全に、快適に施設を利用できる。	総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価
	手段(事業内容)	施設及び設備の保守・点検、及び清掃、植栽等の環境整備。	妥当性	A	有効性 A 効率性 A
			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額 3,854 29年度(当初)予算額 4,063	30年度実施の方向性 実施
			単位:千円	( 3,807 ) ( 4,026 )	

基本事業名	地域社会への参加促進		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等			
基本事業コード	431-03			目的 (どうしたいのか)	地域における交流の促進を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	3	子ども・若者育成支援						
施策の方向	1	健やかな成長支援						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	夏休みラジオ体操事業		事務事業コード	431-03-01					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子ども、地域	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業				
		目的(どうしたいのか)	夏休みは不規則な生活になりがちのため、地域ぐるみで朝のラジオ体操を実施することで規則正しい生活の確立と、世代間交流、地域コミュニティの活性化をめざす。		総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	地域(自治会等)や子ども会に、参加カードと参加賞(えんぴつ3本)を配布することでラジオ体操の促進をうながしている。		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				単位:千円	( 948 )	( 375 )	A A A			

2	事務事業名	親子ふれ愛(ふる愛)事業		事務事業コード	431-03-02					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	羽曳野市内の小学生以下の子ども	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業				
		目的(どうしたいのか)	少子化、核家族化が急速に進み、地域社会とのつながりが希薄となるなか、保護者や地域の人たちと子どもの入浴を通じたふれあいを図り、青少年の健全育成と健康の増進をめざす。		総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	実施日(1月と8月を除く月の全土曜日)に小学生以下の児童・幼児が保護者等と同伴で入浴すれば保護者一人に対し児童(または幼児)が一人無料になる。		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				単位:千円	( 885 )	( 910 )	B B A			

3	事務事業名	成人式開催事業		事務事業コード	431-03-03					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	新成人	29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果		二次評価対象事業				
		目的(どうしたいのか)	成人の日を迎えるにあたり、新成人としての前途を祝福し励ますとともに、成人としての自覚をうながす。		総評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
		手段(事業内容)	成人の日に成人式を開催し、祝福の言葉と記念品を贈呈する。		総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				単位:千円	( 4,605 )	( 4,914 )	A B A			



基本事業名	多様な学習・体験機会の提供		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童・青少年等				
基本事業コード	431-04			目的 (どうしたいのか)	課外における多様な活動の体験を通じて、健全な成長を図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	3	子ども・若者育成支援							
施策の方向	1	健やかな成長支援							
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

事務事業名	はびきの中学生study-O事業			事務事業コード	431-04-01					
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 特命プロジェクトチーム	H30 特命プロジェクトチーム	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内在住または在学の中学生			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	学力向上とともに居場所づくりを図る。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	学校外の自学自習の場を提供し、市職員およびボランティアスタッフのサポートにより、自学自習する力を伸ばす。						B	B	B
				総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性			
					4,005	6,130	実施			
				単位:千円	(2,691)	(3,318)				

事務事業名	小・中学生スポーツクラブ活動事業			事務事業コード	431-04-02					
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B 概ね順調である		継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 特命プロジェクトチーム	H30 特命プロジェクトチーム	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市内在住または在学の小学生および中学生			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	児童・生徒の居場所づくり、健康づくりを促進する。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	市職員が指導員となり、女子サッカーと男女硬式テニスをそれぞれ指導する。						B	B	B
				総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性			
					2,482	2,698	実施			
				単位:千円	(2,482)	(2,698)				

事務事業名	はびきの夏スタ!事業			事務事業コード	431-04-03					
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 特命プロジェクトチーム	H30 特命プロジェクトチーム	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市立小学校4年生から6年生まで			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	学習習慣の定着とともに夏休み中の児童の居場所づくりを図る。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	8月中に各小学校2日間の日程で開催。児童が夏休みの宿題等を持参して自習する中で、分からないところや苦手部分について、市職員やサポートスタッフが助言、指導を行う。学習タイムとゲームや工作等の児童全員で楽しめるレクリエーションや外国人による英会話講座などを行うお楽しみタイムを実施する。						B	B	A
				総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性			
					2,481	2,623	実施			
				単位:千円	(2,481)	(2,221)				

事務事業名	各種教室等開催(青少年センター)事業			事務事業コード	431-04-04					
総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A 順調である		継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当	H29 社会教育課	H30 社会教育課	
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	青少年			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業	
	目的(どうしたいのか)	学校教育だけでは学ぶことが難しい伝統文化や実技を学び、体験できる場を提供し、伝統文化や実技への関心や興味、学ぶ楽しさを育む。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	定期教室(児童画、将棋、書道、水彩画)、体験教室(三曲~琴)、夏休み・冬休み短期教室の開催。						A	B	A
				総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性			
					3,494	3,709	実施			
				単位:千円	(3,279)	(3,465)				

基本事業名	困難を有する子ども・若者の支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	支援の必要な子ども・若者及び保護者等			
基本事業コード	432-01			目的 (どうしたいのか)	居場所づくりとともに、抱えている問題の克服・解決を図る。			
第6次羽曳野市総合基本計画								
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
施策	3	子ども・若者育成支援						
施策の方向	2	困難を有する子ども・若者の支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり ○(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	発達に障害のある児童の居場所づくり事業			事務事業コード	432-01-01					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課 H30	社会教育課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	支援が必要な児童及びその保護者、羽曳野市留守家庭児童会職員			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	支援が必要な児童やその保護者が、悩みを抱えてしまうことで孤立や虐待につながるよう支援を行う。留守家庭児童会職員が、支援の必要な児童への関わり方を学ぶことができるようにする。			総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
手段(事業内容)	相談窓口の開設。児童センター研徳田のホール開放による居場所づくり。留守家庭児童会職員向けの研修会の実施。保護者が「セカンドステップ」プログラム等の実践方法を学ぶ研修会、講演会。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	A		B	A
					5,222	5,222	実施				
					単位:千円	( 222 )	( 222 )				

2	事務事業名	児童養護施設退所児童進学応援奨学金事務事業			事務事業コード	432-01-02					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	こども課 H30	こども課	
	事務事業の概要	対象(誰を・何を)	児童養護施設退所児童			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果			二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	児童養護施設退所児童の進学に係る奨学金を支給することにより、修学意欲の向上を図り、社会的自立を支援する。			総合評価・今後の方向性		各視点からの評価		妥当性	有効性	効率性
手段(事業内容)	市内の各児童養護施設から各1名を選考して、大学等の修業年限を限度として返済義務のない奨学金月額5万円を支給する。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性	A		B	A
							実施				
					単位:千円						

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	子ども・若者及び保護者				
基本事業コード	433-01			目的 (どうしたいのか)	社会全体で健全な育成を支援する。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標目標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	3	子ども・若者育成支援							
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備							
まちづくりの 戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							
					学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)	人	43,919	40,959	48,000

事務事業名	青少年健全育成関連団体支援事業		事務事業コード	433-01-01				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	青少年の健全育成に取り組む関係団体	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	市内の関係団体との協働により、家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組めるようにする。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	市青少年健全育成推進協議会、市青少年指導員連絡協議会、市子ども育成連絡協議会、市青少年リーダー会、市PTA連絡協議会の各団体への助成金の交付、その他日常活動への支援を行う。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				18,447	14,556	A	A	A
			単位:千円	(18,447)	(14,556)			

事務事業名	放課後子ども教室事業		事務事業コード	433-01-02				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	小学生	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	放課後や週末等に学校の施設を利用して、子どもたちの安全で安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育む。	総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	市内14小学校区で地域住民を中心として実行委員会を組織し(構成団体:育成協、福祉委員会、婦人会、老人会、厚生保護女性会、PTA等)、子どもたちにスポーツ、文化活動、様々な遊び、地域ボランティアとの交流、学習活動等の多様な活動を体験する機会を提供する。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				23,241	23,286	A	B	A
			単位:千円	(22,251)	(22,296)			

事務事業名	学校支援地域本部事業		事務事業コード	433-01-03				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子ども(主に公立小・中学校に通う児童生徒)、小・中学校	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	地域と学校が連携協働して、校区内の小中学校の学校運営や教育活動への地域住民による支援活動の促進と調整を行う。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	各校区に地域コーディネーターを配置し、学校の教育活動に対する組織的なボランティア支援を行える環境作りをすすめるとともに、各学校での学習支援、環境整備、部活動指導、登下校の見守り等の取り組みをすすめる。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				2,551	2,651	A	B	A
			単位:千円	(1,825)	(1,925)			

事務事業名	家庭教育支援事業		事務事業コード	433-01-04				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	幼児・小学生の子をもつ親	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	子育てに関する学習機会・情報の提供をとおして、保護者が身近な地域で家庭教育に関する学習や相談ができるようにすることで、家庭教育力の向上を図るとともに、地域や親同士の関係づくりをすすめる。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	地域の親学習リーダー(大阪府の養成講座や類似講座の修了者)により、「親学習」講座を開催し、グループワークの中での対話や交流をとおして、子育ての大切さや親としての自覚や責任について考えてもらう。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				2,375	3,953	A	B	A
			単位:千円	(2,284)	(3,862)			

事務事業名	青少年健全育成啓発等事業		事務事業コード	433-01-05				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	市民、青少年健全育成に取り組む関係団体の構成員	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組めるよう、市内の関係団体との協働関係の強化と啓発をすすめる。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	7月の「青少年非行防止月間」及び11月の「子ども若者支援強調月間」において関係団体と協働して啓発活動を取り組むとともに、青少年健全育成大会・研修会を開催する。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				1,191	1,150	A	B	A
			単位:千円	(1,191)	(1,150)			

事務事業名	子どもの安全確保事業		事務事業コード	433-01-06				
総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
事務事業の概要	対象(誰を・何を)	子ども、子どもの安全見守りに参加する地域住民等	29年度事務事業評価(28年度実施事業)最終結果		二次評価対象事業			
	目的(どうしたいのか)	地域住民等による自発的な協力により、地域ぐるみで子どもの安全を見守る環境をつくり、登下校時における子どもの安全確保と地域の犯罪防止及び犯罪抑止につなげていく。	総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段(事業内容)	児童の安全見守り活動参加者の傷害保険事務等の活動支援、各種団体(校区育成協、PTA、町会等)の協力により「みまもってよ。こども」110番「プレート」を配布。(建物や自転車等に掲示)子どもの安全な環境づくりへの協力意思を示してもらう。	総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		
				1,310	1,349	A	B	A
			単位:千円	(1,310)	(1,349)			

基本事業名	放課後・課外環境の充実		基本事業の概要	対象 (誰を・何を)	児童				
基本事業コード	433-02			目的 (どうしたいのか)	放課後・課外における、安全で快適な居場所づくりを図る。				
第6次羽曳野市総合基本計画									
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち	総合基本計画 目標指標	指標名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)	
施策	3	子ども・若者育成支援		留守家庭児童会の待機児童数	人	0	0	0	
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備							
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり							
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり							
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり							

1	事務事業名	放課後児童健全育成事業			事務事業コード	433-02-01					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(義務的なもの)	担当 H29	社会教育課	H30	社会教育課
	対象(誰を・何を)	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学校の児童及び保護者			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	放課後に就労や疾病等により保護者が昼間家庭にいない小学校に就労している児童の安全を守り、遊びや異年齢との集団生活を通して、健康で自主性や社会性を備えた豊かな人間性を育て、児童の健全育成を保障することを目的とする。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段(事業内容)	市内全14小学校に留守家庭児童会(学童教室)を開設。開会時間は、平日は放課後から午後5時まで、学校休業日(夏休み等)は、午前8時30分から午後5時まで、延長利用(平成26年5月1日より開始)は、午後5時から午後6時30分まで実施。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
				単位:千円	( 177,589 )	( 187,972 )					
					( 63,810 )	( 51,180 )					

2	事務事業名	留守家庭児童会学習支援事業			事務事業コード	433-02-02					
	総計に基づく事業の進捗状況 (29年度)	B	概ね順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)	担当 H29	特命プロジェクトチーム	H30	特命プロジェクトチーム
	対象(誰を・何を)	市内14小学校の留守家庭児童会入会児童			29年度事務事業評価 (28年度実施事業) 最終結果				二次評価対象事業		
	目的(どうしたいのか)	学習習慣の定着を図る。			総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	手段(事業内容)	市職員が各留守家庭児童会に週1回程度出向し、宿題チェック・質問の受付等をするなど、学習支援を行う。			総事業費(うち市負担額)	28年度決算額	29年度(当初)予算額	30年度実施の方向性		実施	
				単位:千円	( 4,462 )	( 5,193 )					
					( 4,462 )	( 5,193 )					